

YOSANO

広報よさの

No.36



●今月の表紙

桑銅小学校卒業式（3月21日撮影）

●主な記事

04 地域共生型福祉施設「やすらの里」

06 平成25年度予算

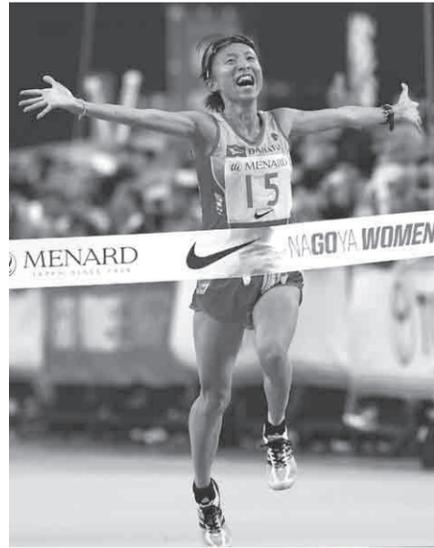
2013

4

大
小学校の
修了した
証す

与謝野町出身ランナー木崎良子さんが名古屋ウィメンズマラソンで優勝！

見事なラストスパートで接戦を制し、笑顔でゴールテープを切る木崎さん（写真/中日新聞社提供）



3月10日、名古屋市で開催された「名古屋ウィメンズマラソン2013」で与謝野町出身ランナーの木崎良子さん（下山田）が見事優勝を果たし、今年8月にモスクワで開催される世界陸上競技選手権大会に日本代表として出場が決定しました。

昨年8月の与謝野町からも大きな声援が送られたロンドン五輪以来のマラソン出場となった今大会。「レース前日は緊張してほとんど眠ることができなかったけど、朝に酸素カプセルで休んで気分転換できた。あとは、やるしかないという気持ちでレースに臨んだ」と木崎さんは語ります。

レース中盤、一時離されるも持ち前の粘り強さで追いつき、父和夫さんから「積極的に行け」とレース前にアドバイスされていたとおり、競り合うディババ選手（エチオピア）が給水する隙についてスパート。そのまま突き放し、優勝のゴールテープを切りました。あこがれの野口選手にも勝利し、世界陸上競技選手権大会への出場権を、男女を通じて1番のりで獲得しました。

3月20日には、マラソン終了後しばらく帰省していた木崎さんが父和夫さんとともに江陽中学校を訪れ、中学生たちを直接指導しました。五輪選手の指導を受けようと、この日は江陽中学校のほか、加悦・橋立中学校も参加し、3校の陸上部員が集結。木崎さんと一緒にグラウンドを走るなど、ともに汗を流しながら直接指導を受け、生徒たちは感激した様子でした。



生徒たちと走る木崎さん。練習中には生徒と並走しながら声をかける姿が見られました

練習後には生徒たちの質問を受けた木崎さん。「疲れないためには？」「ラストスパートを速くするには？」といった質問が多く寄せられトップ選手としてアドバイスを送りました。

与謝野町の高校生が全国大会に出場！

第68回国民体育大会冬季大会（スキー競技）
ジャイアントスラローム少年女子出場（2/16～19・秋田県）
岩谷千咲さん（加悦奥、宮津高3年）



昨年に続いてのインターハイ出場、そして初の国体出場を果たした岩谷さん。今シーズンは故障もあり、思うような滑りができず、初の国体は、「大きな大会の雰囲気にも飲まれてしまった」と緊張で満足のいく結果ではありませんでしたが、全国高校選抜大会、全日本選手権にも初出場を果たし、「トップ選手の滑りや難しいコースなど良い経験ができたので、来年に生かしたい」と語ってくれました。（インターハイSL・国体GS出場）
※SLはスラローム（回転）、GSはジャイアントスラローム（大回転）

第68回国民体育大会冬季大会（スキー競技）
ジャイアントスラローム少年男子出場（2/16～19・秋田県）
小嶋貫太君（幾地、角館高2年）



より競技に打ち込める環境を求めて秋田県角館高校に進学した小嶋君。1年目からインターハイで20位と好成績を残します。続いて出場した冬季国体では、順位をあげての17位。しかし、「来年はどちらも入賞を狙いたい」と好成績にも満足せずより上のレベルを狙います。全国高校選抜大会、全日本選手権、さらにアジア最高峰のシリーズ戦であるFECにも出場した小嶋君の今後の活躍に期待です。（インターハイGS20位、国体GS17位、高校選抜GS11位・SL10位入賞）

『水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち』をめざして 第二ステージのはじまり

総合計画に沿ったまちづくりを進めてきました

与謝野町が平成18年3月1日に誕生してから7年が経過しました。この間、新しくスタートした与謝野町のまちづくりを進めるにあたって、本町における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、「第1次与謝野町総合計画（基本構想と前期基本計画）」を策定し、住民の皆さんとともに、『水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち』をめざしたまちづくりに取り組んでまいりました。

与謝野町流のまちづくり

計画では、行政が行う「公助」だけでなく、自分でできることは自分でする「自助」や、地域でできることは地域でする「共助」、

事業者でできることは事業者でする「商助」による協働のまちづくりを掲げており、この計画に基づき「与謝野町流のまちづくり」を進めてきた結果、少しずつその成果が表れ、また住民の皆さんが積極的にまちづくりに参加していただけるようになってきたと感じています。

後期基本計画を策定しました！

このような中、平成19年に策定しました前期基本計画が平成24年度をもって計画期間の満了となるため、このたび、後継の計画となる後期基本計画を策定いたしました。

この後期基本計画におきましても、引き続き「自助・共助・商助・公助」による協働のまちづくりを実践することとし、そ

れぞれの分野の施策体系を踏襲しつつも、現在の町の課題に対する施策方針や目標をあらためて整理した計画としています。

行財政改革とともに進めます

一方、持続ある行財政の確立を目的に策定した「与謝野町行政改革大綱」につきましても、平成24年度をもって計画期間の満了となるため、「第2次与謝野町行政改革大綱」を策定し、財政収支の黒字化を最大の目標として掲げました。

この行政改革大綱では、各種事業やサービスの大幅見直しも含め大胆な行政改革を断行してこの難局を乗り切る必要があるとしています。資産の有効活用、事務事業の見直し、効率的・効果的な組織運営と職員数などの

適正化に取り組みとともに、自助・共助の促進、住民参画のまちづくりと行政サービスの向上を目指します。

笑顔かがやくまちへ

グローバル化、少子高齢化、地方分権の推進など、本町を取り巻く環境は日々変化しており、これらの状況に対応した持続可能なまちへ向けて、住民の皆さんと行政が手を取り合い、まち全体が一つの「輪」となって与謝野町流のまちづくりを一步一歩着実に進めてまいります。今後とも『水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち』の実現に向けて、一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

与謝野町長 太田貴美



総合計画後期基本計画書

総合計画審議会
新たな体制でスタート！
2月25日、総合計画審議会が岩滝保健センターで開催され、20名の委員が次のとおり委嘱されました（敬称略）。委員の任期は平成28年1月31日までの3年間です。

角江 弘泰（男山）	小池 隆一（浜町）	山崎 友彦（弓木）	茂籠 数夫（下山田）	吉田 八郎（明石）	安達 種雄（岩屋）	小長谷 啓介（上山田）	宮本 浩司（温江）	宮本 孝子（幾地）	青木 順一（温江）	江原 順一（三河内）	安田 典由（加悦）	三富 あけみ（上山田）	太田 博（明石）	江原 義典（後野）	矢野 ゆみ（幾地）	小長谷 泰志（算所）	村山 和生（三河内）	宮崎 博和（弓木）	藤田 憲一（温江）
-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	-------------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-------------	----------	-----------	-----------	------------	------------	-----------	-----------



左/「やすらいる」の一室
右/「生活リハビリ道場」の温水プール

在宅複合型施設 やすらの旋風

NPO法人丹後福祉応援団によって運営され、内部はデイサービスセンター「生活リハビリ道場」、ショートステイ「やすらいる」、サービス付き高齢者向け住宅「やすらの詩」の各事業所に分かれ、それぞれきめ細やかで特色のあるサービス提供が行われます。

日帰りの施設利用であるデイサービスを行う「生活リハビリ道場」とショートステイ「やすらいる」が併設されていることが特徴で、全国的にもめずらしい取り組みです。このことで、短期間の施設利用であるショートステイも気軽に利用していただきたいと考えています。

生活リハビリ道場には温水プールをはじめ、さまざまなリハビリ施設・器具も整備し、皆さんが楽しみながら過ごしていただけるようサービスを提供し

ていきたいと考えています。また、サービス付き高齢者向け住宅は、少しの支援さえあれば生活する力がある方が、より長く自身の力で生活していく手助けができればと思います。新しいことにチャレンジしながら、介護に新たな「旋風」を吹き込みたいと思います。

● Interview

NPO法人丹後福祉応援団理事長
三井健史さん



図 やすらの旋風 ☎ 44-1122



● Interview

ワークセンター
花音管理者
平井弘美さん

花音では、喫茶店・惣菜販売、老人ホームの給食の下ごしらえ、施設清掃の3つのグループで、さまざまな障害を持った方が力を合わせて働いています。人とのつながりの中で働くことで、生活が広がります。私たちはそんな皆さんを支えながら、一人ひとりにあった仕事や働く

場を提供していきたいと考えています。

施設では、喫茶「花音」をはじめ、施設の清掃作業など、障害者の皆さんが働く姿を見ていただけたらと思います。まずは、地域の皆さんに見て理解してもらおうことが大切だと考えています。

そのためにも気軽に来て、集まってもらえる場になることが花音の目的の一つです。そうして地域に親しんでもらえる存在になりたいです。

図 ワークセンター花音 ☎ 44-0022



喫茶「花音」の店内。地域の方にはすでに常連客も

障害者就労支援施設ワークセンター 花音

社会福祉法人よさのうみ福祉会により運営され、地域の皆さんにご利用いただけるカフェの経営や配食サービスの実施の他、やすら苑・やすらの旋風からの館内業務受託など、障害者の就労の場を広げます。

訪問看護ステーション サテライトみのり

サテライトみのりは、与謝野町と宮津市で訪問看護ステーションを運営している公益社団法人京都府看護協会が、岩滝の天の橋立訪問看護ステーションの支所（サテライト）として開設するもので、地域の訪問看護サービス提供の充



地域への訪問看護がスムーズになりました

実や、やすらの里内他事業所の医療的ケアへのサポートなども検討されています。



● Interview

サテライト
みのり管理者
三宅佳代子さん

私たちは、在宅で療養する方に医療サービスを提供する訪問看護を行っています。すでに岩滝地域に設置した天の橋立訪問看護ステーションの支所（サテライト）として、今回サテライトみのりを設置しました。これによって移動時間を省くことができ、よりきめ細やかなサービ

スの提供が可能となりました。また、やすらの里には、ヘルパーやケアマネージャーの方が同じ施設内で働くので、患者さんへの対応を相談することで、医療だけでなく福祉の視点からもケアできるなど、他職種との連携によるメリットも生かせると考えています。

一人ひとりが自分の住み慣れた土地で住み続けられるように手助けをさせてもらうことで、地域を支えていくことができたいと思います。

図 サテライトみのり ☎ 43-0225



特集 地域共生型福祉施設 「やすらの里」 地域に根ざした 施設をめざして

地域共生型福祉施設「やすらの里」（加悦）の運営が、3月1日から始まりました。この施設は、特別養護老人ホーム入所待機者の増大や家庭の介護力の低下、国・府の推進する地域包括ケアシステム（地域住民に、保健・医療サービスおよび福祉サービスを、関係者が連携・協力して一体的・体系的に提供する仕組み）に対応するために設立されました。あわせて障害者の自立支援等も含めて、業種を越えた新たな福祉事業を展開するため、町の呼び掛けで、4法人が参画。検討を重ねつつ約3年間の歳月をかけてこのほど完成し、2月14日には竣工式が開催されました。

やすらの里はあらゆる福祉サービスを行う事業所の複合体で、次の4つの事業所が開設されています。

- 特別養護老人ホーム「やすら苑」
- 在宅複合型施設「やすらの旋風」
- 障害者就労支援施設「ワークセンター」
- 訪問看護ステーション「サテライトみのり」

これら事業所の連携・協働により、地域の福祉に関する課題に対応し、地域での尊厳ある暮らしをサポートする事業展開が期待されます。今回の特集では、それぞれの事業所をインタビューを交えて紹介します。

特別養護老人ホーム やすら苑

特別養護老人ホームやすら苑は、数多くの介護施設を経営し、特に利用者に職員が密接に対応するユニットケアに定評のある社会福祉法人与謝郡福祉会により運営され、特別養護老人ホーム待機者を減らし、その人らしさや尊厳を保った暮らしができる場所づくりを目指します。



やすら苑内の「地域交流スペース」。子育て支援センターや地域との交流に活用されます

まだ開所したばかりではありませんが、ご家族の方がよくお越しになり、注目度の高さを感じています。やすら苑では最終的に60人まで受け入れたいと考えており、その中で、ユニットケアによって職員と利用者の距離を近くし、きめ細かいサービスを目指します。

また、施設内には子育て支援センターや職員向け保育所も開設予定で、子どもの声が響き渡るような場にしたいと考えています。子どもたちや他の事業の

● Interview

特別養護老人ホーム
やすら苑施設長
今川俊之さん

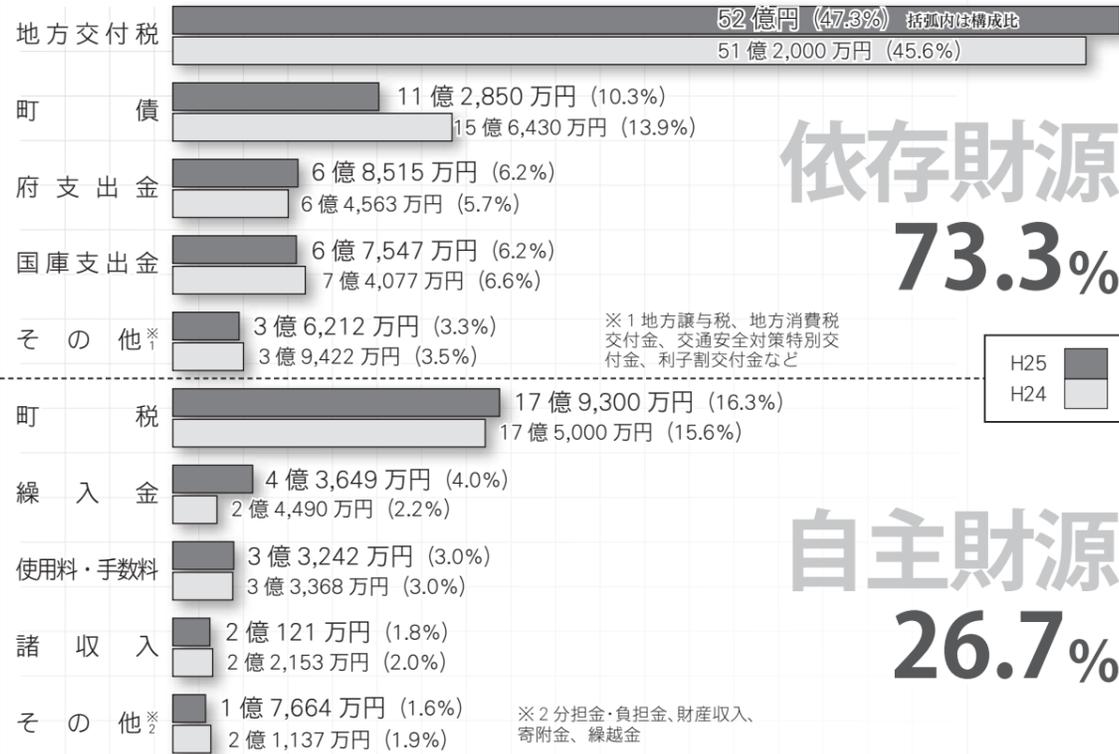
利用者などとの交流ができる開放的な施設になればと考えています。すでに喫茶「花音」へ行く利用者や家族の姿も見られ、うれしく思っています。

そして、住民の皆さんの声を聞きながら、福祉という枠を越えて地域での役割を果たしていきたいと考えています。



図 やすら苑 ☎ 43-2500

一般会計 歳入 (款別前年度対比)



「安心・安全」
を第一とした
緊縮型の予算です

2月28日から開会された町議会で平成25年度予算が審議され原案どおり可決されましたので、その概要をお知らせします。

平成25年度予算は合併後最大の4億2,000万円を財政調整基金から取り崩すなど非常に厳しい財政状況を踏まえ、職員給料を3%、特別職給料を5%削減するとともに、投資的経費を大幅に抑制、各種団体などへの補助金についても5%削減をお願いするなど、住民の皆さんにも痛みを伴う予算となっています。

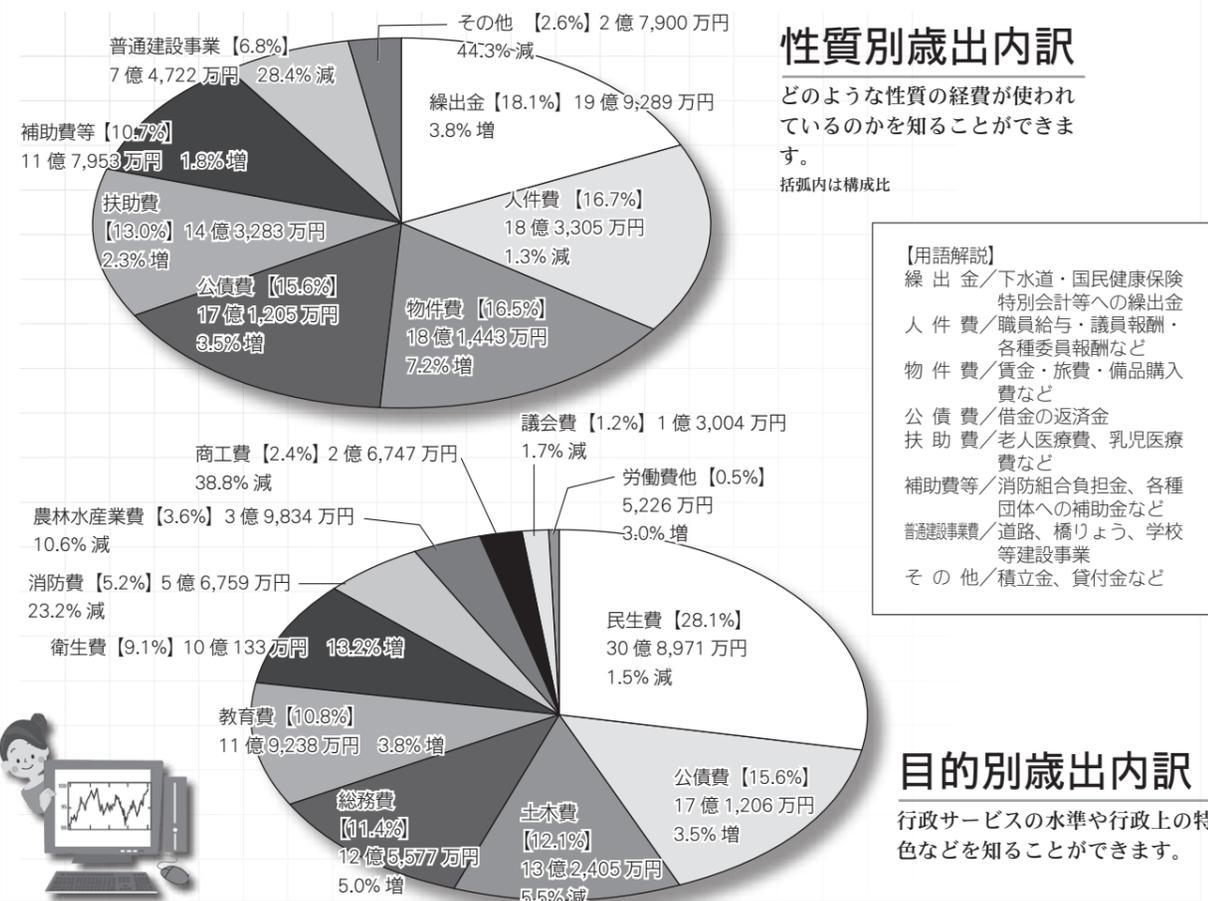
このように厳しい財政状況であります、「住民の安心・安全」に関係する、防災対策・浸水対策・学校施設や通学路の安全対策・DV被害者支援対策・自殺防止対策などについては、最優先事項として予算配分を行っています。

与謝野町は合併8年目を迎え、平成25年度は「総合計画後期基本計画」および「第2次行政改革大綱」をスタートする年にあたります。これらに掲げる事業の推進、目標達成を最大のテーマとして位置付け「持続可能なまちづくり」を進めます。

平成25年度 予算

- 予算総額 (水道事業会計は除く)
196億2,288万円
平成24年予算比 2.6%減
- 一般会計
109億9,100万円
平成24年予算比 2.1%減

一般会計 歳出 (決算統計区分による)



会計別予算額

会計別	25年度総額	24年度総額	前年対比
一般会計	109億9,100万円	112億2,640万円	- 2.1%
特別会計			
簡易水道特別会計	9億6,340万円	11億8,780万円	- 18.9%
宅地造成事業特別会計	1億2,577万円	1億7,491万円	- 28.1%
下水道特別会計	16億5,363万円	17億1,899万円	- 3.8%
農業集落排水特別会計	3,810万円	4,098万円	- 7.0%
介護保険事業勘定	24億9,740万円	23億3,573万円	+ 6.9%
特別会計 サービス事業勘定	1,157万円	1,402万円	- 17.5%
土地取得特別会計	35万円	35万円	- 1.7%
国民健康保険事業勘定	29億310万円	30億220万円	- 3.3%
特別会計 直診勘定	9,800万円	1億2,750万円	- 23.1%
後期高齢者医療特別会計	2億5,740万円	2億4,350万円	+ 5.7%
財産区特別会計	8,317万円	7,995万円	+ 4.0%
合 計	196億2,288万円	201億5,234万円	- 2.6%
水道事業会計 (公営企業会計)			
収益的収入	1億4,509万円	1億5,692万円	- 7.5%
収益的支出	1億7,261万円	1億8,181万円	- 5.1%
資本的収入	50万円	95万円	- 47.0%
資本的支出	7,422万円	1億1,203万円	- 33.8%

※端数整理のため表内計および前年対比が一致しないものがあります。

平成 25 年度の主要事業



安心と生きがいのある 福祉のまちづくり

- 子ども・子育て支援事業計画策定事業【新規】179 万円
「子ども・子育て支援事業計画」を策定する。
- 高齢者等住宅除雪費補助金【継続】100 万円
自力で除雪が困難な高齢者等の冬期間の雪害事故を防止するため、2 万円を上限に住宅除雪費補助金を交付。
- つながるこころささえる事業【継続】39 万円
自殺防止のため、町ホームページに「こころの体温計」を開設し、心理状態のチェックなどができる環境を整備。
- DV 被害者等緊急一時避難支援事業【継続】71 万円
DV 被害者等を一時的に避難させることにより身の安全を確保する。また、「よさの虐待ほっとライン」も設置。
- 全国女性町長サミット事業【新規】150 万円
全国の女性町長が一堂に会し、情報交換や地域間交流を行う「第 3 回全国女性町長サミット」を与謝野町で開催。



伝統を活かし未来に チャレンジする産業づくり

- 京力農場づくり事業【新規】921 万円
人と農地の問題を解決する「京力農場プラン」を策定するため推進員を配置。担い手組織へ農業機械整備を支援。
- 明日の京都村づくり事業【新規】663 万円
地域ぐるみで地域資源を活用した元気な村づくりへ、集落営農組織の立ち上げと拠点施設整備支援を実施。
- 観光宣伝事業【継続】983 万円
「海の京都」観光推進事業など今後予想される外国人の受け入れ態勢を整備。「与謝野自慢」を引き続き開催。
- 丹後建国 1300 年記念事業【充実】143 万円
平成 25 年は丹後建国 1300 年にあたることから、舞鶴市以北の 3 市 2 町で記念事業を実施。
- 緊急雇用対策事業【新規】2,076 万円
地域の創意工夫による雇用創出・雇用再生を図る。
- 観光イベント等開催事業【継続】677 万円
「ひまわり 15 万本事業」をリニューアルして実施、その他各実行委員会へ負担金を交付。



自然と安全を守る まちの基盤づくり

- 地球温暖化対策事業【一部新規】279 万円
庁舎等公共施設の照明を LED 化するとともに、「よさの百年の暮らし委員会」へ補助金を交付。
- 広域ごみ処理施設整備推進事業【新規】6,416 万円
宮津・与謝 1 市 2 町での広域ごみ処理施設の整備に向け、「宮津与謝環境組合（一部事務組合）」を設置。
- 不法投棄対策事業【継続】145 万円
悪質な不法投棄を防止するため、赤外線防犯カメラを

設置。また、町内巡回により不法投棄の監視を強化。

- 河川改修事業【一部新規】5,510 万円
土砂堆積・常習浸水を解消するため、幾地地区の水路改修を引き続き実施し、明石川上流域の浸水対策を実施。
- 地域防災計画策定事業【継続】950 万円
東日本大震災の教訓を生かし、地震・津波・原子力対策等に対応できるよう引き続き地域防災計画の改定を実施する他、洪水ハザードマップを作成。



快適でやすらぎのある 生活環境づくり

- 農業振興地域整備計画策定事業【継続】450 万円
昨年からの継続事業として、新たな与謝野町の農業振興地域整備計画を策定。
- 北近畿タンゴ鉄道高齢者片道 200 円レール事業【継続】340 万円
65 歳以上の町民を対象に北近畿タンゴ鉄道管内の普通列車乗車賃を片道 200 円にすることで、利用促進を図る。
- 道路新設改良事業【一部新規】1 億 7,653 万円
各道路改良工事等を継続。橋りょう長寿命化修繕計画を作成し、計画的な修繕を実施。
- 街路整備事業【新規】800 万円
阿蘇シーサイドパークの隣接道路である町道波止場線の歩道舗装を行い、公園利用者等の安全確保を図る。



明日の人材を育てる 教育文化のまちづくり

- 小・中学校施設整備事業【新規】7,213 万円
加悦中学校改築工事の実施設計業務、各小学校の校舎、プール等の計画的な改修等、安全・安心な教育環境を整備。
- 適応指導教室事業【継続】379 万円
不登校やひきこもりで悩む子どもたちや保護者へ適切な指導・助言のため、臨床心理士のカウンセリングを実施。
- 大江山運動公園体育館改修事業【新規】1 億 156 万円
屋根の老朽化が進む大江山運動公園体育館について、施設の長寿命化を図るため、屋根等の大規模改修を実施。



協働で進める まちづくり

- 人事評価システム導入事業【新規】263 万円
職員資質・モチベーションの向上により、よりよい住民サービスの提供を図るため、人事評価システムを導入。
- 住民自治活動支援事業【継続】618 万円
コミュニティづくりの振興事業やコミュニティ施設の整備事業への自治振興補助金による支援を引き続き実施。
- 地区公民館整備事業【新規】1,298 万円
地域コミュニティ拠点の整備として、明石地区公民館の新築工事の実施設計、建設用地造成工事を実施。

一般会計予算を家計簿に例えると…

町の予算、平成 25 年度一般会計予算 109 億 9,100 万円を、年間の収支が約 500 万円、月額にしておよそ 41 万 6,000 円の収入がある「よさのさん」のお宅の家計に置き換えて見ましょう。



よさの家

収入		1 か月の家計に例えると (単位: 円)		
まちの一般会計予算 (単位: 万円)		1 か月の家計に例えると (単位: 円)		
自主財源	町税、使用料・繰入金等	293,976	給料・パート収入等	111,000 【+ 6.5%】
依存財源	地方交付税、国・府支出金等	692,274	祖父母からの仕送り等	262,000 【+ 0.3%】
	町債の発行	112,850	ローンの借入金	43,000 【- 27.9%】
収入計		1,099,100	収入計	416,000 【- 2.1%】

括弧内は前年度対比

月額収入はローン借入が減少して、昨年から 2% 減少していますが、昨年度と同様 6 割以上を祖父母からの仕送りに頼っている状況です。

ローン借入は、家の増改築、修繕等を大きく控えた結果により約 28% 減少しています。
給料・パート収入、貯金の取り崩し等の収入については、昨年から 6.5% 増加していますが、この増加は給料収入が増えたわけではなく、貯金の取り崩しによって増加したものです。



1 か月の家計簿

支出		1 か月の家計に例えると (単位: 円)		
まちの一般会計予算 (単位: 万円)		1 か月の家計に例えると (単位: 円)		
義務的経費	人件費	183,305	食費、医療費、ローン返済等	69,000 【- 1.3%】
	扶助費	143,283		54,000 【+ 2.3%】
	公債費	171,206		65,000 【+ 3.5%】
普通建設事業費・維持補修費	80,037	家の増改築、修繕、車等の購入	30,000 【- 27.4%】	
補助費・繰出金等	321,584	子どもへの仕送り等	122,000 【- 3.1%】	
積立金	18,242	預金積立	7,000 【- 9.6%】	
物件費	181,443	光熱費・日常生活用品等	69,000 【+ 7.2%】	
支出計	1,099,100	支出計	416,000 【- 2.1%】	

括弧内は前年度対比

貯金の取り崩しが増加したのは、支出において光熱費、日常生活品などの経費やローン返済などが増加していることから、必要な収入をローン借入で補った上、さらに貯金も取り崩さなければならない状況になっているといえます。このまま貯金を取り崩してしまうと数年で底をついてしまうため、そうならないために節約に努めなければなりません。

「よさの家」家計簿の用語解説

自主財源

町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金および負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などがあります。町独自で収入額を決められるので「自主財源」と呼びます。

依存財源

国や府の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、府支出金、地方債など。町独自で収入額を決められないので「依存財源」と呼びます。

義務的経費

町の歳出の中で、支出が義務付けられ任意に削減できない極めて硬直性が強い経費のことです。職員給与等の人件費、医療費等の扶助費、地方債の元利償還金である公債費が該当します。



わたしは ココにいます!

4月1日付の与謝野町職員人事異動
と全職員の配置をお知らせします!
(括弧内は前所属)



与謝野町役場

総務課
 課長 奥野 稔
 主幹 平野 公規
 主幹 小牧 伸行
 課長補佐 川村由美子
 係長 吉岡 素子

主任 成毛 克明
 主任 志賀 伸之
 主任 長島 昭太
 主任 梅田 聡史
 (福祉課主査)
 主査 田中 栄輔
 (総務課主事)
 主査 今井 俊郎
 (教育推進課主事)
 主事 高尾 健志
 京都地方税機構派遣
 係長 和田 吉平
 主査 白敷 勝也
 (水道課主査)

建設課
 課長 西原 正樹
 主幹 藤垣 浩二
 課長補佐 山口眞由美
 (福祉課長補佐)
 係長 上田 誠
 係長 細井 義文
 係長 岡本 重幸

岩滝地域振興課
 課長 中上 敏朗
 係長 前田留美子
 主任 本田実佐子
 主査 山村 祐輝
 (野田川地域振興課主査)

福祉課
 課長 浪江 昭人
 (野田川地域振興課長)
 課長補佐 山崎 久代
 課長補佐 前野みゆき
 課長補佐 田辺 茂雄
 (福祉課係長)
 課長補佐 柴田 勝久
 係長 市田 和美
 係長 芳賀 和代
 係長 坪倉 由貴
 (教育推進課係長)
 係長 糸井 敬雅
 (福祉課主任)

保健課
 課長 前田 昌一
 (保健課主幹)
 課長補佐 柴田 和代
 課長補佐 水口 淳子
 係長 香山 優子
 係長 東 牧子
 係長 青山 潤子
 係長 大上 寛起
 係長 矢野 彰男
 主任 安田雄一郎
 主任 岩間 智昭
 (建設課主任)
 主査 西村 彰洋

農林課
 課長 井上 雅之
 (農林課主幹)
 課長補佐 三田 大智
 (農林課係長)
 主任 岡本 仁
 主任 坂根 豊
 主任 引野 浩明
 (下水道課主任)
 主任 井上 公章
 主査 松本 朋
 主査 中村 有希
 主事 荒木 拓哉

野田川庁舎
 野田川地域振興課
 課長 坪倉 正明
 (学校給食センター所長)
 課長補佐 柴山 進
 (建設課長補佐)

浪江 智子
 係長 西原 誠
 主任 坂根加奈子
 主事補 田中 皓詞
 (新規採用)

下水道課
 課長 西村 良久
 主幹 茂籠 誠
 課長補佐 永野 和美
 係長 野村 光男
 係長 榊 幹明
 主査 谷山 邦宏
 主査 吉岡 弘人

係長 増田 靖彦
 調理員 大江 直己
 調理員 太田千鶴子
 調理員 上田 卓巳
 調理員 吉田 忠宏
 調理員 長島 和泰
 調理員 千賀 亘
 調理員 藤田みゆき

主事補 佐金 郁夫
 (新規採用)
 所長 山崎 温子
 副所長 隅垣恵理子
 主任 山本比登志
 主任 保野士 細見 厚子
 主任 保野士 森津 清美
 主任 保野士 彦坂 裕香
 (市場保育所主任保育士)
 保育士 田中 史穂
 保育士 土井裕実子
 調理員 吉田千代野

所長補佐 浪江 幸代
 (岩滝保育所主任保育士)
 主任 保野士 小牧伊佐子
 主任 保野士 岡井 裕子
 保育士 木村 杏美
 調理員 山崎 妙美

主事補 岩根 玲佳
 (新規採用)
 調理員 倉 宜子
 主事補 岩根 玲佳
 (新規採用)
 園長 大内 明美
 主任 保野士 前田 裕美
 主任 保野士 松本 香代
 主任 保野士 杉本 景子
 主任 保野士 上野 耕平
 (新規採用)
 調理員 河辺 咲子

主査 諭 青木あゆ美
 作業者 山添有紀子
 三河内小学校
 作業者 富田 順照
 加悦小学校
 作業者 山田紀美子
 与謝小学校
 作業者 浪江 謙
 橋立中学校
 作業者 木村 功
 加悦中学校
 作業者 今井 康夫

永島 洋視 (農林課長)
 泉谷 貞行 (保健課長)
 佐賀 義之 (福祉課長)
 太田 幸雄 (福祉課主幹)
 河嶋 裕子 (桑飼保育園長)
 福井 芳 (市場保育所長)
 友次 敦美 (石川保育所長)
 長島 弘子 (岩屋保育所長)
 本城 智鶴 (建設課長補佐)
 高尾 通江 (加悦保育園主任保育士)
 合林 智子 (山田保育所保育士)
 後藤知恵子 (石川小学校作業員)

税務課
 課長 植田 弘志
 課長補佐 安田 敦
 係長 堀口 義雄
 主任 河野 宏行
 (岩滝地域振興課主任)

住民環境課
 課長 朝倉 進
 主幹 平 勝成
 (住民環境課長補佐)
 係長 堀場理恵子
 (住民環境課主任)

図書館
 主任 瀨戸真由美
 阿蘇雪照苑
 作業員 山本比登志
 野田川衛生ラント
 所長 福田 茂
 所長補佐 内藤 繁夫
 主任 小西 良祐
 (野田川衛生ラント主査)
 作業員 市田 次男
 作業員 野村 春安
 作業員 石本 節雄
 作業員 杉本 悟
 作業員 明石 和義
 作業員 山田八十美
 国民健康保険診療所
 主査 諭 坂根みちよ
 主査 諭 伊達 美雪
 主査 諭 小西 隆博

岩屋保育所
 所長 岩佐 容子
 (岩屋保育所長補佐)
 主任 保野士 平池 理香
 主任 保野士 吉岡まなみ
 (新規採用)
市場保育所
 所長 徳田 順子
 (市場保育所長補佐)

山田保育所
 所長 東垣 恵子
 所長補佐 浪江 博美
 主任 保野士 須川 和美
 主任 保野士 西嶋 郁子
 保育士 古橋 夏希
 調理員 安田 弥生

桑飼保育園
 園長 山崎ひろ美
 (加悦保育園長補佐)
 園長補佐 森本田鶴子
 主任 保野士 山添扶美子
 主任 保野士 堀 綾美
 主任 保野士 上山 晃平
 主任 保野士 和田佳那子
 調理員 倉橋真奈美

岩滝幼稚園
 園長 千賀智恵子
 主任 諭 牛田 睦美
 主任 諭 和田マリ子
 教諭 森 智美
三河内幼稚園
 園長 平野 栄
 主任 諭 浪江 圭子

退職者 (3月31日付)
 永島 洋視 (農林課長)
 泉谷 貞行 (保健課長)
 佐賀 義之 (福祉課長)
 太田 幸雄 (福祉課主幹)
 河嶋 裕子 (桑飼保育園長)
 福井 芳 (市場保育所長)
 友次 敦美 (石川保育所長)
 長島 弘子 (岩屋保育所長)
 本城 智鶴 (建設課長補佐)
 高尾 通江 (加悦保育園主任保育士)
 合林 智子 (山田保育所保育士)
 後藤知恵子 (石川小学校作業員)

水道課
 課長 吉田 達雄
 主幹 山添 雅男
 係長 赤西 秀幸
 主任 須田 美鈴
 主任 大門 洋
 主任 山崎 友裕
 主任 井戸本大輔
 主任 牛田 竹史
 主任 由利慎太郎
 主任 石倉 康智
 (水道課主査)

施設等
 学校給食センター
 所長 城崎 敏一
 (住民環境課主幹)

企画財政課
 課長 浪江 学
 主幹 小池 大介
 課長補佐 谷口 義明
 係長 和田 直樹
 係長 小谷 貴儀
 係長 中田 秀樹
 主任 廣野 智史
 主任 山口 周作
 主任 渡邊 稔之
 (企画財政課主査)
 主事 大江 麻美
 (教育総務課主事)
 主事 井田 拓磨
 主事補 細見 将吾
 (新規採用)

商工観光課
 課長 長島 栄作
 課長補佐 小室 光秀
 (総務課係長)
 係長 池田 浩樹
 係長 千賀 忠
 主任 金谷 信康
 主査 松本 潤也
 主事 安田 光樹
 主事 徳澤 千夏
 与謝野町染色センター
 技師 増田 通正

加悦庁舎
 室長 飯澤嘉代子
 室長補佐 小柴 弘次
 主任 浪江 真理
 主査 廣谷 章彦
 (建設課主事)
 主事 多賀野芳則
 技師 倉橋 雄大
 技師補 大江 勇人
 (新規採用)

加悦地域振興課
 課長 森岡 克成
 課長補佐 宮本 純子
 係長 市田 桂一
 主任 浪江 和徳
 主任 小西 哲夫
 主任 井上 朱里
 主事 山本 陵太
 主事 秦 弘記

保健課
 主任 半海 大輔
 主任 落合 久志
 主任 金谷 景子
 (福祉課主査)
 主査 糸井 健博
 (総務課主査)
 主査 加畑 達也
 主事 後藤麻貴子
 主任 保野士 山田 智之
 主任 諭 榊原 泰代
 主任 諭 田中 百絵
 主任 諭 金谷恵衣子
 (福祉課社会福祉士)
 主事 小谷 文
 主任 諭 小山 佳子
 主任 諭 安達 希美
 (新規採用)

農林課
 主任 諭 大泉みのり
 主任 諭 小西衣都子
 保健師 伊藤 真美
 保健師 尾上 愛
 保健師 中矢 早織
 主事補 梅田 春菜
 (新規採用)
 課長 小池 信助
 主幹 下川 賢司
 課長補佐 山本 泰久
 課長補佐 吉田 雅広
 係長 加藤 晴彦
 係長 大江 聡
 (教育推進課主任)
 主任 諭 竹下 浩二
 主任 諭 吉岡 敦文
 (企画財政課主任)
 主査 堀 由紀子
 (福祉課主査)
 主事 奥野 眞敏
 主事 藤井 彩
 (住民環境課主事)
 主事 加藤 昌孝
 (野田川地域振興課主事)
 主事 小西 勝歩



子育てについてわかりやすく講演する山添先生

今回は、子育て支援、育児不安の早期発見と支援として取り組む「2歳児子育て交流会」を紹介しします。この取り組みは、2歳児の保護者を対象に、岩滝保健センターと元気館で年4回、実施しています。今年度の参加者数は20名で、毎年対象者の1割強の参加があります。

今回は3月5日に開催した2歳児子育て交流会の様子を紹介しします。臨床心理士の山添恵子先生に、「2歳児のこころ」今大切にしたいこと」と題して、年齢に応じて心の発達、感情の発達、親としての関わり方、しつけ等の子育てのポイントについて講演してもらい、お母さんからの質問への回答や助言をもらいました。その後、参加者どうしの交流会を行い、日頃、不安に思っていることなど、家庭や子育ての状況を聞き、共感している様子が見られました。また、交流をとおして知り合いができ、保護者どうしのつながりづくりの場にもなっています。

ここで、山添先生の講演内容を紹介します。

●心の発達

【0才～1歳半の頃】

この頃に、基本的信頼感、基本的安全感、心の安全基地が作られます。赤ちゃんは、気持ちよい状態にしてくれる人に信頼感を育てます。これは、おむつ交換、授乳、ミルクをあげる、寝かせる等のその行為の積み重ねによつて育ち、非常に深い意味があります。赤ちゃんと接するとき、自信を持って、しっかりと見つめ話しかけてあげましょう。

また、7カ月頃の人見知り、母と他人の認知の発達の証です。大事な指標となります。

【1歳半～3歳頃】

この時期は、人生で一番発達の激しい時期、遊びが盛んで探索心・好奇心が旺盛な時期です。脳、神経回路が発達する時期で、イライラや、かんしゃくをおこしやすいです。

自分の意思がしっかりとでき、自我が芽生えます。第一反抗期として何でも「イヤイヤ」と我を通すようになります。遊びを充分させ、できるだけ自分でやらせ見守っていく。その中で、自分でできることが増え、自信につながります。心の安全基地ができていくからこそ、安心して外

へ向かう力となり、のちのち学習していく力にもつながります。

【3歳～6歳】

集団生活が始まり、知識欲旺盛で社会性が育つ時期です。心の安全基地があつてこそ社会性が育まれます。

●親の関わり方、しつけ

【子育てはあわてずに】

2歳代が一番不安の高まる時期です。現代は物や情報が豊富で、効率よくこなしていますが、子育ては、効率よくも早くもなりません。子育ては、早さを競うものではありません。必要な時にしっかりと手をかけ、年齢に応じてしつけをしていくことが大切です。

【正しいしつけとは】

しかり方のポイントは、身に危険なこと、他人に危害を加えるなど困った行動に対しては、大きな声でびつくりさせるようしかなることが大切です。

「ダラダラと長引かせる」「前のことをもちだす」「愚痴皮肉」といったしかり方はよくないしかり方です。子どもが不快になるようなしかり方は避けましょう。

「おこる」と「しかる」ことは違います。「おこる」ことは、イライラや不満をぶつけることであり、「しかる」はよくないことを指摘し

導くことです。親のイライラのはけ口として「おこる」ことがないよう「しかる」ことを心がけましょう。

しかりすぎると、心の発達に影響してしまいます。たたくことは避け、できるだけ言葉で伝えましょう。「ついたらいてしまう」と若いお母さんほどその傾向が見られたというアンケートもあります。よいことをほめながら、悪いことはしかって、しつけましょう。

●育児ストレス

いい親でいなければという思いが強すぎるとしんどくなります。完璧な親も完璧な人もいません。子育てに行き詰まったとき、助けてくれる人、愚痴を聞いてくれる人、辛さを分かってくれる人が必要です。誰もいないと孤立してしまい、ストレスがたまってしまいます。1人で悩まず、周りの協力を得て、子育て支援センターや相談事業といった公的なサポートなども利用しながら、上手にストレスを解消し、子育てを楽しめるようにしていきましょう。

●参加者の感想

参加者からは「自分だけではないんだと安心できました」「しつけについて、あせっていたが、あせらなくてよいことがわかりました」といった感想が寄せられました。

スタートします！ 消防団協力事業所表示制度

■消防団協力事業所表示制度とは？

「消防団協力事業所表示制度」は、従業員の消防団活動等に協力していただいている事業所を町が「消防団協力事業所」と認定し、表示証の交付や町ホームページ等に掲載して、その協力内容や社会貢献を広く公表する制度です。

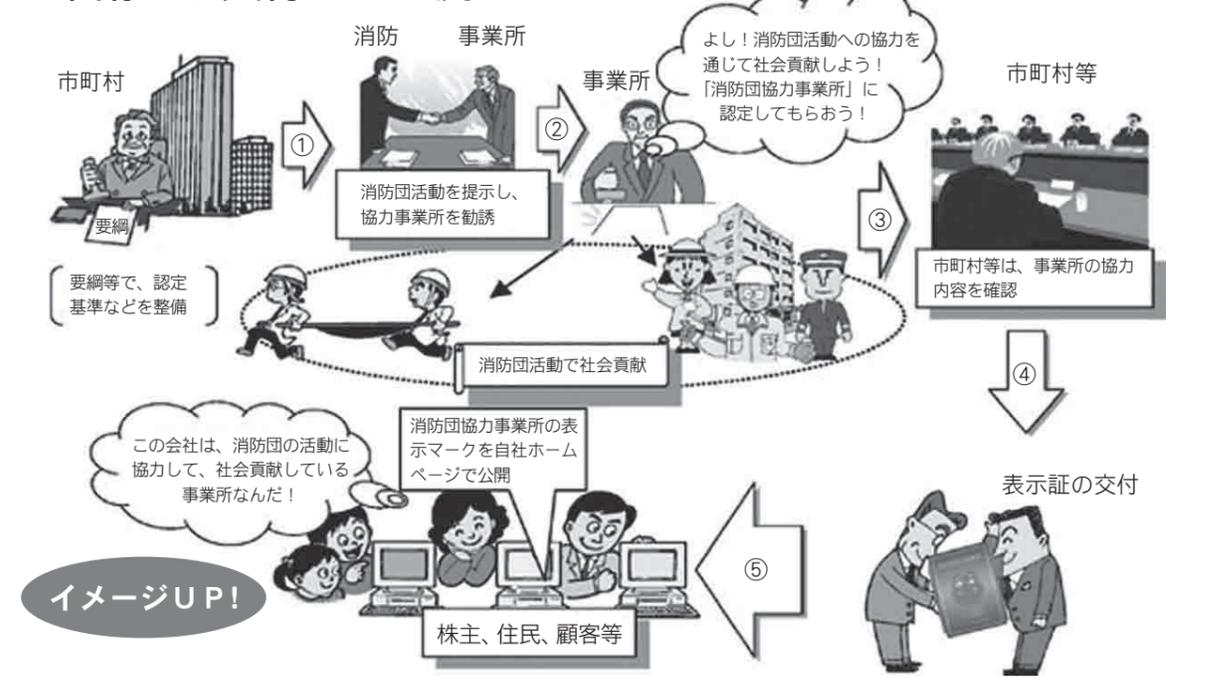
これによって、団員の入団促進やさらなる活動環境の整備だけでなく、協力事業所の社会的信頼性の向上やPRにつなげ、地域全体の消防防災体制の一層の充実を目指します。

■消防団協力事業所表示制度はなぜ必要？

消防団は、消火活動はもとより、大規模災害時には地域の安全確保のために、地域密着性・要員動員力・即時対応力といった特性が不可欠です。しかし、現在消防団員は、人口減少、少子高齢化に伴い、全国的に減少傾向にあります。また、産業界や就業構造の変化等によって団員のサラリーマン化が進み、与謝野町消防団で約80%の団員がサラリーマンと高い割合となっています。

このようなことから、与謝野町では平成25年4月からサラリーマンが入団しやすく、活動しやすい環境を整えることを目的にこの制度を創設しました。

■申請から交付までの流れ



「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に掲示でき、表示証のマークを自社ホームページなどで広く公表することができます。また、消防団協力事業所には、表示証が交付されます。

消防団協力事業所表示制度や消防団に関するこの問い合わせは総務課 (☎ 46-3004) まで

私の祖父は、優しく賢明な人です。彼は、自分の人生から得た知恵を私に教えてくれています。いつか、私は祖父から「幸福の条件は？」と尋ねられたことがあります。祖父との会話をおして、皆さんにも祖父の考えを伝えたいと思います。

たいていの人は、「自身の目的が達成できれば幸せ」だと思っているのではないのでしょうか。祖父は私に「君の人生の目的を教えてください」と言いました。私はしばらく考え、「①家族を養い、友人を作る。②良い仕事をする。③旅行する。④新しいことを学ぶ」と答えました。

祖父は賛成してうなずくと、「その目的は『知的なもの』と『社会的なもの』に分類することができる。では、『健康』と『信仰』を目的と考えることはないか？」と尋ねました。私はすぐに、「⑤運動を心がけ、健康的な食生活を送る。⑥神様と良い関係を築く」と付け加えました。

祖父は、「幸福を得るためには、君が言うように『知的』『社会的』『健康』『信仰』が必要だね」と言い、私がそれに感心していると、さらに「そのすべてを達成できなければ君

は幸福ではないのか？」と尋ねました。

私が考えていると、祖父は答えをくれました。「本来、人は幸福になること、それ自体が目的である。目的が達成できず失敗してもかまわない。君の目的である良い仕事に就けなくても、運動する時間がなくてもその時に与えられている幸福に喜びを感じなさい」と言いました。そして、



家族や親戚と食事！右側一番手前が祖父、その奥が僕の妻、その奥が私です

さらに私に教えてくれました。「生きていく上で、『知的』『社会的』『健康』『信仰』のバランスを保つことのできない人が『不幸な人』なんだよ」と。

私は、この言葉について考えると、いつも祖父の正しさに思い当たります。そして、日々この4つのバランスを心がけると、だいたいうまく事が運びます。

でも、うまくいかないこともあり、時には大変厳しいと感じてしまうこともあります。そんな時は、よくないことを考えすぎず、喜んでみるよう努力しています。皆さんも大変なときは私のように喜んでみてくださいね。

新しい春の季節がやってきました。皆さんに幸福が訪れますように！

時の贈り物 [第66回 木造二天部形立像 (伝持国天・伝増長天)] まちの文化財



伝持国天立像(左)と伝増長天立像(右)

700年以上の歴史に刻まれた雲岩寺の栄枯盛衰を見守り続けてきたこと、4月14日には、雲岩公園つじ祭にて特別公開が予定されています。ぜひその姿をご覧ください。

岩屋区、雲岩公園にある天王堂には5体の仏像が安置されています。今回は、その中の2体、木造二天部形立像の伝持国天立像と伝増長天立像をご紹介します。

この2体の仏像は、両者とも仏の世界を守る守護神(四天王)と言われており、邪鬼を踏みつけた様相をしています。それぞれ高く挙げられた手には、伝持国天は独鈷杵(煩悩を打ち砕く法具)、伝増長天は剣を持ち、腰に手をあてた姿で、左右対称で須弥壇(仏像等を安置するために一段高く設けられた場所)に安置されています。

2体の仏像は、頭部や両腕などが近代の修理によって新しいものになっており、その像の内部に内割り(像の内部をくり抜くこと)のない一木造り(一つの材から作る木彫像)であることや、上半身を細身に表し下半身に量感を持たせている点などから、平安時代に造られた可能性が

図書館へ行こう！

気分も新たに

新しい出会いの季節、春がやってきました。新しい環境で気分も新たにされている方も多いのではないのでしょうか。そんな新生活に向けてぴったりの本をご紹介します。



『置かれた場所で咲きなさい』

渡辺和子/幻冬舎

どんな花でも咲けない日があります。その時は、根を下へ下へと降ろしましょう。つらい日々も笑える日につながっているのです…。

読む人の心に和らぎをもたらす言葉を紹介しています。



『暮らしを美しくするコツ509』

暮らしの手帖編集部/暮らしの手帖社

どんなことでも楽しむための工夫をしよう。暮らしの中のさまざまな場面、掃除から収納、料理、洗濯、快眠まで、生活にまつわるさまざまな工夫とコツを紹介。

春から始める初めての一人暮らしにもどうぞ。

『ゆうきをだして!』

くすのきしげり・いもとようこ

/佼成出版社

土の中の球根は、「ぼく、このままでいい」と思っていました。おひさまにあたためられて…。

大きくなること、成長することの素晴らしい姿を描いた絵本。



『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井良二/偕成社

「あさになったら窓を開ける」そのなげない日々の繰り返しにこそある、たしかかな希望や生きることの喜びを描いた絵本。鮮やかな色彩に力強い自然の力を感じる一冊です。



- 今月の新着図書
- 『治療するとカワイクくなります』大平健/新潮社
 - 『新幹線お掃除の天使たち』遠藤功/あさ出版
 - 『大人の国語力大全』話題の達人倶楽部/青春出版社
 - 『一路全2巻』浅田次郎/中央公論新社
 - 『なめらかで熱くて甘しくて』川上弘美/新潮社
 - 『執着』堂場瞬一/角川書店
 - 『蘭陵王の恋(新御宿かわせみ)』平岩弓枝/文藝春秋
 - 『パン屋を襲う』村上春樹/新潮社
 - 『幸福トラベラー』山本幸久/ポプラ社
 - 『チェロの木』いせひでこ/偕成社
 - 『ももんちゃんし〜』とよたかずひこ/童心社
 - 『ニュース年鑑2013』池上彰/ポプラ社
 - 『体育館の日曜日』村上しいこ/講談社
 - 『もっとこういふときどうするんだっけ』辰巳渚/毎日新聞社
 - 『南極大陸のふしぎ』武田康男/誠堂新光社
 - 『きせつの手づくり図鑑 春』峯村良子/偕成社
 - 『とりつかれたバレリーナ』斉藤洋/あかね書房
 - 『じゃんけんの子』松岡享子/学研教育出版

Info

「たくさん読んで 大きくなあれ」
4月23日は子ども読書の日
4月23日～5月12日は子どもの読書週間です
寒い冬が終わり、太陽の光のもとで新しい命が芽吹く春がやってきました。与謝野町の子供たちも、本を読むことで、心にたくさん栄養をたくわえて、どんどん大きくなってほしいと願っています。

引っ越しの際はご連絡ください！
春は進学や引っ越しなどが多い季節です。もしも住所などに変更があった場合は図書館へお知らせください。
図書館では、与謝野町にお住まい、お勤め、または町内の学校へ通っている方であれば、すぐに利用カードを作製できます。名前・住所等の確認のため保険証・免許証を持参の上、図書館へお越しください。

Topics

絵本作家 川端誠さん絵本ライブ&講演会を行いました
3月20日に知遊館で、「おばけ」シリーズなど数々の絵本を生み出している絵本作家川端誠さんによる、自作絵本を読み聞かせる絵本ライブと絵本製作の裏話を語る講演会を行ない、小学生から大人まで119人が参加しました。絵本の世界に引き込まれました

Info

図書館おはなし会
<本館> 5月11日(土) ①午前10時30分～ ②午後3時～
<加悦分室> 5月11日(土) 午後3時～
※野田川分室はお休みです。



まちの話題 お届けします

●功績功勞をたたえて

井田義之さんが 京都府スポーツ賞特別栄誉賞を受賞！

井田義之さん（石川）が京都府スポーツ賞特別栄誉賞を受賞しました。京都府スポーツ賞は、スポーツに関し優秀な成果を取めたり、体育・スポーツの健全な普及・発展に貢献した人や団体を表彰するもので、特別栄誉賞はその最高賞にあたります。

井田さんは、平成5年から石川体育協会会長、平成15年からは野田川体育協会会長を歴任し、与謝野町誕生に伴い、旧3町の体育協会を統一し、与謝野町体育協会の設立に尽力し、初代会長として、組織の運営・充実に努めました。さらに、平成20年には与謝野町駅伝競走大会を初開催し、

その実行委員長を務め、平成22年、23年には、よさの大江山登山マラソンの実行委員長として大会を成功に導くなど、リーダーシップを発揮し、与謝野町、丹後地域のスポーツの振興・発展に大きく貢献しました。

井田さんは、これまでの体育協会の取り組みが評価され、その代表としての受賞だと思えます」と語ってくれました。



竣工を祝ってのテープカット

●後野地区公民館竣工式

地域コミュニティの拠点が完成！

3月15日、後野地区公民館竣工式が開催され、関係者ら41人の出席のもと、新たな地域コミュニティの拠点となる公民館の完成を祝いました。

旧公民館は大正14年に公会堂として建築され、公民館としての改修・増築を加えながら現在まで使用されてきましたが、築85年以上が経過し、老朽化が目立っていました。そのため、区民へのアンケート調査等をおして、新公民館の建設を決定し、およそ半年の工事を経て2月28日に完成しました。

式典では、区長による式辞や太田町長・垣中教育長による祝辞が述べられた後、施工業者等への感謝状贈呈が行われ、最後はテープカットで締めくくられました。祝辞の中で大江俊夫区長は、「この公民館を地域の集いの場とし、今まで以上に町と区のために使います」と、その活用を誓いました。

●京都府立医科大学附属北部医療センター（与謝の海病院）開設に係るシンポジウム 今後の地域医療のあり方を学びました

3月10日、府立与謝の海病院講堂で「京都府立医科大学附属北部医療センター（与謝の海病院）開設に係るシンポジウム」が開催され、多くの人が出席しました。

府立与謝の海病院は、4月1日から府立医科大学附属の北部医療センターとなります。それに先立って開催されたこのシンポジウムでは、まず今後の目指す方向性に加え、認知症への対応やリハビリ機能・医師派遣機能の充実、地域医療機関とのさらなる連携強化など具体的施策について説明されました。続いて行われた基調講演「地域医療と人材育成～地域で医師を育てる～」では、

府立医科大学教授山脇正永教授が地域での人材育成の重要性について講演。山脇教授に加え、赤木重典久美浜病院院長や中川長雄与謝医師会長、太田町長も参加したパネルディスカッションも開催されるなど、地域医療を改めて見つめなおすよい機会となりました。



今後の地域医療の期待や要望など、熱心な議論が交わされたパネルディスカッション



三田酒店（徳島県）で行われた手話パフォーミング。各地でパラエティに富んだイベントが催されました

●ココ丹後 2013

丹後を舞台に心をひとつに！

3月16日から20日までの5日間、「ココがつながる」をテーマに「ココ丹後2013」が開催されました。丹後地域で人々がつながり、日常の中にある「もの」「こと」「ひと」を元気づけようと、今年で2回目となる今回は、与謝野町をはじめ京丹後市、宮津市、伊根町の36の飲食店や施設が参加。映画の上映や体験講座、作品展、ライブなどさまざまなイベントが行われ、訪れた人は「いろいろなイベントがあって巡るのが楽しい」と笑顔でした。

●子育てフェスタ in 丹後

アトラクションで親子が交流！

3月16日、17日の2日間、野田川わーくぱるで「子育てフェスタ in 丹後」が丹後地域の子育て支援サークルや府・自治体などで構成する「丹後地域子育て支援ネットワーク」の主催で開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。

会場では、大きな遊具やさまざまなおもちゃなどがそろった遊園地「Pep Kids Garden」が子どもたちを出迎え、子どもたちは大はしゃぎ。なかでも、ビニール製の大きな滑り台が人気を集め、たくさん子どもたちが元気に遊ぶ姿が見られました。そのほかにも、絵本の読み聞かせコンサートや、子育てサークル等の活動を紹介するパネル展示、子育て講演会なども開催。京都府広報監「まゆまる」と与謝野町マスコットキャラクター「まめっこまいちゃん」も登場するなどイベントを盛り上げ、多くの親子が笑顔で交流しました。



子どもたちに大人気だった滑り台。繰り返し遊ぶ姿が見られました

●橋立中学校・桑飼小学校環境学習 講演や体験をとおして 環境への意識を高める！

3月7日、知遊館で橋立中学校1年生が、3月12日には桑飼小学校5年生が環境学習を行いました。これらの仕掛け人となったのはNPO法人「丹後の自然を守る会」理事長の蒲田充弘さん（浜町）。蒲田さんは、子どもたちの環境への意識を高めようと環境学習を各地で実施しています。

橋立中学校の環境学習には1年生97人が参加。橋立中ではこれまで阿蘇浄化への活動を中心に環境学習を進めてきました。今回はそのまとめとして、町内の環境への取り組みについて蒲田さんが講演。続いて実際に廃油から作ったBDF（バイオディーゼル燃料）を使用して農業を営む大江誠さん（香河）もその取り組みを紹介し、「初

めはたった1人だったが、環境にやさしい農業がより注目されるようになるにつれて、BDFを使う人も増えてきた」と取り組みの広がりについて紹介しました。

続いて、サケが野田川を遡上する姿を捉えたビデオが上映され、初めて知った生徒からは驚いた様子でした。そして、「できることから取り組みを続けて、川や海の環境を守りたい」とその感想を語ってくれました。

桑飼小学校では、昨年夏に児童たちが育てたひまわりから絞った油で作ったドレッシングを使う料理教室が開



BDFの排気のおいさをかぐ橋立中の生徒たち。てんぷら油のようなにおいで



ひまわりドレッシングをサラダにかける桑飼小の児童たち

され、5年生の児童14人が参加。宮津市でレストラン「ピオ・ラビット」を営む対馬則昭さんの指導のもと、これまでおいしく食べられるキャベツの切り方やおいしく見せる盛り付けなどを教わりながら調理し、サラダが完成。ひまわりドレッシングをかけておいしく食べました。「自分で育てたひまわりがドレッシングになるなんてすごい」と、環境にやさしい地産地消を体験をとおして学んだ様子でした。



今回、初めて婦人会による着物での卒業式となった桑飼小学校の卒業生たち

●小学校卒業式

ちりめん姿で華やかな卒業式に！

町立小学校9校の卒業式が3月21日に行われ、6年間馴れ親しんだ学び舎を280人の児童が巣立ちました。

与謝野町婦人会の「子どもたちに着物文化を体感してもらおう機会をつくろう」との思いを受け始まった着物姿による卒業式は、今年で6回目。与謝野町染色センターで染色した着物を貸し出して、婦人会のメンバーが卒業生に着付けた桑飼小学校・三河内小学校・山田小学校の3校以外にも保護者が準備した着物に身を包み、卒業式を迎える児童の姿が見られました。

式典が始まり、中振袖に袴姿の女子児童や羽織袴姿の男子児童が入場すると、会場は華やいた雰囲気。着慣れない着物に児童らは緊張した表情を見せていましたが、織物の町ならではの卒業式は、出席者全員の思い出に残るものとなりました。

シリーズ⑥ 男女共同参画



京都府女性の船 参加者募集!

地域・職場の課題解決や社会・経済の活性化のために活躍する女性リーダーを育成する「京都府女性の船」事業に参加してみませんか。

- 【実施時期】 6月14日(金)～17日(月) ※事前研修・事後研修があります。
【訪問地】 北海道(小樽市・札幌市)
【研修概要】 講義、課題別グループ学習、全体発表・意見交換会、現地活動団体との交流、現地見学等
【応募資格】 京都府内に居住または勤務するおおむね20歳以上の女性
【参加費】 30,000円(要件を満たす場合は、補助金を交付します)
【その他】 申し込み方法・提出書類等その他詳しくは、町ホームページをご覧ください。
【問い合わせ先】 ●企画財政課 ☎46-3084 ●京都府府民生活部男女共同参画課 ☎075-414-4291

防災訓練に8,922人が参加

与謝野町防災訓練 総務課 ☎46-3004

3月10日、東日本大震災を教訓とし、地震・津波を想定した防災訓練を住民の皆さんをはじめ、防災関係機関の参加のもと、町内全域で実施しました。



避難先の1つ、市場小学校では、消防署員による講演に避難者が耳を傾けました

若狭湾沖を震源とする震度6弱の大地震により、町内全域に及ぶ家屋倒壊・火災、また日本海沿岸の大津波(岩滝沿岸に5mの津波

が襲う)を想定、午前9時の地震発生サイレンとともに開始された訓練は、岩滝地域における津波避難地への避難(高台避難)や町内各地で決められた第一次避難所への「住民避難訓練」に8,922名が参加。その他、加悦地域では「災害時要援護者の避難誘導の訓練」、野田川地域では市場小学校をメイン会場に「防災関係機関による災害対応訓練・防災啓発」、消防団による「地震災害対応訓練」等を実施しました。

府指定文化財に指定されました

温江遺跡「人面付土器」 教育推進課 ☎43-2193



温江遺跡「人面付土器」町立古墳公園には資料館で展示公開中です

人面付土器が府指定文化財に!

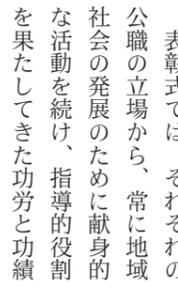
3月19日付けで、温江遺跡出土の人面付土器が新たに京都府指定文化財に指定されました。温江遺跡は、温江区から加悦区にまたがる集落遺跡です。丹後の中でも面積の広い集落遺跡の一つで、今までの部分的な発掘調査で、弥生時代前期から平安時代の建物跡

や土器片が確認されています。人面付土器は、平成20年11月から平成21年2月に実施された第6次調査で、環濠(村の周囲に巡らせた堀)の中から多くの弥生時代前期の土器とともに出土しました。

環濠を備えた村は地域の中心的な存在と考えられ、この時代の温江遺跡の中心域は環濠に囲まれた東西約90m×南北約150mの範囲と推定できます。人面付土器は、一緒に出土した土器から推測して、弥生時代前期中頃(約2200年前)のものとして語りかけています。

地域のリーダーを表彰しました

与謝野町特別職員表彰式 総務課 ☎46-3003



与謝野町特別職員表彰式が3月8日、与謝野町役場で開催され、長年にわたる特別職員としての功績をたたえて、矢野均さん、三田彌壽信さん、永濱誠彦さんの3人を表彰しました。表彰式では、それぞれの公職の立場から、常に地域社会の発展のために献身的な活動を続け、指導的役割を果たしてきた功労と功績



永濱誠彦さん 三田彌壽信さん 矢野均さん

に對して、太田町長から表彰状が手渡されました。矢野均さん(男山)は、男山区長を通算9年3月の長きにわたって務め、町行政の推進はもとより、バイタリティあふれるリーダーシップにより、男山区の地域コミュニティの発展に多大な功績を残しました。三田彌壽信さん(男山)は、旧岩滝町時代も含め、通算24年以上にわたって農業委員を務め、とりわけ会長職を通算8年8月の長きにわたって務め、委員の指導に尽力するなどリーダーシップを発揮し、地域の農業振興に大きく貢献しました。

永濱誠彦さん(岩屋)は、旧野田川町時代も含め、通算24年以上にわたって交通安全対策委員を務め、とりわけ5年3月もの長きにわたって、交通安全対策委員会会長として、会長をよく補佐しながら、交通安全対策について、積極的に提案するなど、住民の交通事故防止に多大な貢献を果たしました。

地産地消への取り組みが評価!

「京の豆っこ米」生産部会 農林課 ☎43-2191



表彰状を手にする西原良一部会長(与謝)

近畿農政局長賞を受賞しました J A京都与謝野町「京の豆っこ米」生産部会が近畿地産地消優良活動表彰で近畿農政局長賞を受賞しました。「J A京都与謝野町京の豆っこ米生産部会」は、町内の小中学校の給食でも使用されています。現在、町内の全小・中学校と2幼稚園の給食で「京の豆っこ米」が使用されています。いる「京の豆っこ米」を生産する農家で構成され、給食自給率の向上など地産地消を推進しています。そうした取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

宝くじの助成金で整備しました

梅谷会館竣工 企画財政課 ☎46-3084



三河内区梅谷に整備され、3月に竣工を迎えた梅谷会館

地域コミュニティ活動の発展を目的に、財団法人自治総合センターの自給宝くじ受託事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、三河内区梅谷に梅谷会館が整備されました。宝くじ助成事業は、皆さんが購入した宝くじを財源として、コミュニティの健全な発展を支援しています。

ふるさと納税 ありがとうございます

いただいたご寄付は目的に沿って活用します。 ●ご寄付いただいた皆さん ※受付期間：平成24年11月1日～平成25年3月31日 匿名(大阪府) 30,000円 匿名(和歌山県) 30,000円 小牧孝充さん(大阪府) 30,000円 永井哲也さん(三重県) 30,000円 ※平成24年度合計 610,000円

まちグルメ in YOSANO ~まちぐるみで楽しいDays~

5/18(土)19(日)

産業振興会議では、町内の農業者・加工生産者と飲食店がコラボレーションして、「特別メニュー」を住民の皆さんに提供し、「地産地消」を身近で感じていただくことで、中小企業振興基本条例の基本理念「地域循環経済」について「まちぐるみ」で考えていただくグルメイベント「まちぐるみ」(略称)を開催します。

http://www.facebook.com/yosanomachiguru

最新情報は Facebook ページ でゲット!!

夜間納税窓口
4/25(木)26(金)30(火)
いずれも午後8時まで
野田川庁舎(税務課)
※納付書をご持参ください。

滞納相談窓口
※納期を過ぎた町税の納付相談窓口
京都地方税機構丹後地方事務所
京丹後市役所大宮庁舎3階
☎ 0772-68-1041

与謝野町役場
☎ 46-3001 (代表)

岩滝地域振興課
☎ 46-3002
総務課
☎ 46-3003
☎ 46-3004 (消防安全係)
企画財政課
☎ 46-3084
☎ 46-3085 (情報システム係)
建設課
☎ 46-3267
商工観光課
☎ 46-3269
会計室
☎ 46-3007

野田川庁舎
☎ 44-2081 (代表)

野田川地域振興課
☎ 44-2082
住民環境課
☎ 44-2083
税務課
☎ 44-2084
水道課
☎ 44-2085
下水道課
☎ 44-2086

加悦庁舎
☎ 43-1511 (代表)

加悦地域振興課
☎ 43-1512
福祉課
☎ 43-1513
保健課
☎ 43-1514
農林課
☎ 43-2191
議会事務局
☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課
☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課
☎ 43-2193

固定資産の縦覧・閲覧ができます
固定資産税 縦覧・閲覧制度

【縦覧とは】
自己の所有する土地・家屋の評価に関し、他人の土地や家屋の評価額等と比較すること、その評価が適正であるかどうかを判断する制度です。

土地の納税者は土地の、家屋の納税者は家屋の、両資産の納税者は土地・家屋両方の縦覧ができます。

【閲覧とは】
納税者本人の所有する資産部分の閲覧ができます。

【注意事項】
町内所有の資産が免税点未満で納税者でない場合は、縦覧できません。

納税者以外の人が

縦覧・縦覧を希望する場合は、納税者からの委任状を必ず持参してください。

縦覧は税務課、閲覧は各庁舎でできます

【縦覧できる期間等】
● 期間 / 4月1日～5月31日
● 場所 / 税務課

【閲覧できる期間等】
● 期間 / 4月1日以降通年
● 場所 / 税務課、岩滝・加悦地域振興課

※いずれも土・日・祝日除く、午前8時30分～午後5時まで。

【必要なもの】
● 印鑑
● 個人を証明できるもの(運転免許証・固定資産課税明細書等)

より安心安全な「京の豆っこ米」へ
京の豆っこ米栽培研修会

安心・安全でおいしい米づくりへ

3月13日、元気館で「京の豆っこ米栽培研修会」を開催しました。

この研修会は、与謝野町で生産する100%有機質肥料「京の豆っこ」を使用して栽培されている「京の豆っこ米」の田植えを前に、今年目標を立て、より一層、安心・安全でおいしい米をつくるために、京の豆っこ米を栽培する農家の皆さんが参加し、毎年開催しています。

販売業者から消費者の視点を学びました

今年、イトーヨーカ堂に京の豆っこ米を卸している東京の東邦



講演に熱心に聞き入る京の豆っこ米生産農家の皆さん

納期限までに納付をお願いします
平成 25 年度町税等の納期

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	納税通知書の送付日
町民税 府民税			7/1(月)		9/2(月)		10/31(木)			1/31(金)			6月中旬
固定資産税		5/31(金)		7/31(水)		9/30(月)			1/6(月)				5月中旬
軽自動車税		5/31(金)											5月中旬
国民健康保険税			7/1(月)	7/31(水)	9/2(月)	9/30(月)	10/31(木)	12/2(月)	1/6(月)	1/31(金)	2/28(金)	3/31(月)	6月中旬 ※納付書は毎月送付

納期は月末です
各税目とも、納期は月末ですが、その日が土・日、祝日の場合はその翌日となります。

納期を過ぎると督促を送付することになりますので、期限までに納付をお願いします。

納付方法
町民税・固定資産税
● 町・府民税は6月に、固定資産税は5月に1年分(各4枚)の納付書をまとめて送付しますので、なくさないようにしてください。

● 一括納付の方は、4枚の納付書を使って納付してください。

● 国民健康保険税
● 口座振替以外の方は、納付書を毎月発送します。

● 一括納付の方は、

一括用納付書を使って納付してください。

● 口座振替納付の方は、
● 一括納付の方は、各税目の第1期納期に振替します。

● 期別納付の方は、各税目の納期限に振替します。

納期を過ぎると延滞金が課されます
納期限を過ぎてから納付した場合、納期限の翌日から完納の日までの日数に応じて、*年14.6%の割合を乗じて計算した延滞金を課することになります。

※納期限の翌日から1カ月を経過する日までの期間については年7.3%。

ただし、前年の11月の末日に日本銀行法の規定により定められる商業手形の基準割引率(従来の公定歩合)によって変動があります。

マダニにご注意ください!
重症熱性血小板減少症候群患者 (SFTS)

国内において重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者がこれまでに5名確認されています。重症化すると命にかかわる恐ろしい病気です。今回の症例では感染経路などはわかっていませんが、SFTSウイルスを保有しているマダニに国内で咬まれて感染した可能性があります。

マダニが媒介する病気は、SFTS以外にも日本紅斑熱やつつが虫などたくさんあります。これからマダニが活発化する時期を迎え、また、人が野外で活動する機会が増えますので、マダニに咬まれないように注意しましょう。

【感染予防方法】
● 草むら・やぶなど、マダニが生息する場所に入る場合には、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする。
● 屋外活動後はマダニに咬まれているかを確認する。
● 吸血中のマダニを見つけた場合は、できるだけ医療機関で処置する。
● マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診する。

町内に配布している
広報誌には掲載しています

町内に配布している
広報誌には掲載しています

まちのうごき

平成25年2月末現在

人口	23,923人 (-15)
男	11,362人 (-12)
女	12,561人 (-3)
世帯数	9,142戸 (-2)

※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、2月16日から3月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。



広瀬創作工芸

廣瀬勲さん

こだわりの逸品が日本一に。

「まさかそんなにすごい賞だとは思いませんでした」そう語る廣瀬さん。グランプリ受賞の第一報を聞いたときも「どんな賞なのだろう」と思っただけです。1人だけが受賞する最高賞、つまり日本一に輝いたことを知ってから大変驚いたのだそうです。

廣瀬さんが今回応募したのは「魅力ある日本のおみやげコンテスト2013」。外国



ひろせ いさお

● 昭和24年生まれ。後野。長らく先染めによる帯の制作を手かけ、平成7年頃からは工芸品も手がけ始め、その後、自宅に工房「広瀬創作工芸」を構え、帯の制作の傍ら体験講座を開催。その模様は広瀬創作工芸ホームページで紹介。問い合わせも同ホームページへ（「広瀬創作工芸」で検索）。

人からの視点で、特に魅力的なおみやげを選定することで、魅力ある日本のおみやげを発掘・育成し、日本の魅力を海外に伝えることを目的に観光庁が主催するコンテストで、毎回全国から自慢の逸品が集結します。今回は636点の品々が応募され、その中で廣瀬さんの作品「雲竜和紙ランプ」が数度の審査を経て頂点に輝き、「日本一のおみやげ」となりました。

「雲竜和紙ランプ」は、糸を巻く木枠に和紙を巻き、押し花等で飾りつけたもの。柔らかな明かりや、和紙と自然の素材を生かした、和風で温かな雰囲気自慢の一品です。廣瀬さんは、長らくちりめんに関わってきました。45年来、先染めによる帯づくりを手がけてきましたが、平成7年頃から、たくさんある木枠を有効活用できないかと、ランプなどの工芸品を作るようになりまし。最初はちょっとした遊び心からでした」という廣瀬さん。ランプを作り始めた当時は、ちりめん産業も現在より景気がよく、「周りからは本当に遊びに見えた」と思っています。だから逆に、絶

対ものにしてやろうと思いましたが」と振り返ります。

試行錯誤を繰り返しながら、ランプなどの工芸品を制作する傍ら、展示会にも多く参加します。「見る人の声はやはり参考になります」と廣瀬さん。6、7年ほど前から、ランプ制作の体験講座も行うようになりまし。体験の参加者には若い人が多く、非常に好評で、現在では年間150回から200回ほどの体験講座を開催。多くの人がランプの制作などを楽しんでいます。「来てくれたお客さんに喜んでもらえることが一番うれしい」と語る廣瀬さん。「ものづくりの楽しさをまずは気軽に味わってもらいたい」ともいいます。

「毎年、新しいものに挑戦するようにしている」「細かなところまでこだわっています



温かみあふれる廣瀬さんの作品。木枠を自作するなどさまざまな形のものにも挑戦します

「す」と制作の心構えを教えてくださいましたが、「教えている子どもの言葉で新しい発想が浮かぶことも多い。ものづくりはとて奥深くてももしろい」とも語ります。

今後については、「びっくりするような賞をもらいたが、これまでどおり作品を作って、そして体験してもらいたいと思います。丹後のものづくりはすばらしいので、これを機に『よし、私も！』と頑張ってあげたいです」と語ってくれました。

ランプのほか、機織りに使うシャトルの置物や、ちりめんコースターなども制作しています

